

令和8年8月千葉豪雨に対する「ねぎ」の事後対策

令和8年8月19日

農林水産部担い手支援課

「ねぎ」における事後対応

ほ場の状況	対 策
定植後、間もないほ場	●^{うえみぞ}植溝内に水が溜まっている場合は、<u>速やかに排水</u>。 ●<u>首元（葉身が分かれているところ）まで土で埋まっている場合は、速やかに除去</u>。 ●^{うえみぞ}植溝が崩れ株元が曲がったまま固まっている場合は<u>株元の土をほぐし、ネギが起き上がるのを待つ</u>。
既に土寄せを始めていたほ場	●通路内に水が溜まっている場合は、<u>速やかに排水</u>。 ●畝が崩れた場合は、<u>涼しい時期になってから土寄せを行う</u>。収穫は遅れるが、慌てて土寄せすると病害発生恐れがあります。 ※畝が大きく崩れて倒伏が懸念される場合は、高温となる時間帯を避けて<u>畝の修復作業</u>を行いましょう。

＜「ねぎ」共通の対策＞

- 日中高温となる日が続くと「軟腐病」・「白絹病」等の病害発生リスクが高まるので、薬剤防除（殺菌剤）を行いましょう。植付間もないほ場や畝を修復する必要のないほ場では液剤の散布、畝の修復作業を行うほ場では粒剤処理を行いましょう。

＜「ねぎ」軟腐病・白絹病等に登録のある主な殺菌剤＞

薬剤名	FRAC	適用病害	希釈倍数等	使用時期	使用回数
オリゼメート粒剤	P02	軟腐病	6kg/10a (株元散布)	土寄せ時 収穫 30 日前まで	2 回以内
スターナ水和剤	31 (A4)	軟腐病	2000 倍	収穫 7 日前まで	3 回以内
カセット水和剤	31 (A4) 24 (D3)	軟腐病	1000 倍	収穫 14 日前まで	2 回以内
バリダシン液剤 5	U18	軟腐病、白絹病	500 倍 (株元散布)	収穫前日まで	2 回以内
モンガリット粒剤	3 (G1)	軟腐病、白絹病、小菌核病	4～6kg/10a (株元散布)	土寄せ時 収穫 14 日前まで	3 回以内
アフエットフロアブル	7 (C2)	白絹病、黒腐菌核病	1000-2000 倍 (株元灌注 1L/m ²)	生育期 収穫 14 日前まで	2 回以内
モンカット粒剤	7 (C2)	白絹病	4～6kg/10a (株元散布)	土寄せ時 収穫 30 日前まで	4 回以内
リゾレックス粉剤	14 (F3)	白絹病	20～30kg/10a (株元散布)	土寄せ前 収穫 14 日前まで	3 回以内
		リゾクトニア葉鞘腐敗病	30kg/10a (株元散布)		

（注意）農薬使用前にラベル表示で再度、登録内容を確認しましょう！